

319その他の圧力容器を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	7 ～ 8	当社1階の駐車場で、トラック荷台に積載していた溶接用の酸素瓶を荷台より降ろす作業をする際に、誤って酸素瓶を落下させ、左足甲の部分を骨折負傷した。	65	4	11209	10～ 29人
2	2018	2	9 ～ 10	LPガスボンベ（50kg）2本を道路側へ運び出そうとしたところ、U字溝に左足がはまり、バランスを崩し、残った右足にボンベが倒れて、右足脛を負傷した。	60	5	170209	100～ 299人
3	2018	2	6 ～ 7	60kgのガスボンベを軽トラックの荷台に積み込む作業中、手元を滑らせて左足に落とし、足指3本を骨折した。	63	4	30199	1～9人
4	2018	3	8 ～ 9	工場の出入口で、酸素ボンベ（φ200×H-1300）の空きビンを表に出し、横に倒した空きビンを移動させるために右足で押したときに、転倒して右足のひざを強打した。	73	2	11209	10～ 29人
5	2018	3	12 ～ 13	充填されたガス容器を2本回しに2トラックに積み込む際に左手手袋（皮手袋）の裾がめくれ、容器キャップと手のひらの間に挟まれ、左手に意識が集中してしまい、右側容器の注意を怠り右側容器が不安定になり倒れてきた右側容器と左側容器の間に右手を挟み右第2指開放骨折の怪我が発生した。	28	4	170101	1000人以上
6	2018	4	14 ～ 15	ガスボンベから耐圧容器にガスを充てんする作業を行う際、連結するゴム管からガスが漏れ、手で押さえに掛かったところ数秒間連続して漏れたガスに触れ軽い凍傷状態になった。	45	11	170209	30～ 49人

7	2018	4	10 ～ 11	1階の圧力釜で大納言かのご豆を生産している際、圧力後に蓋を開けようとした際に、圧力が抜けきれておらず、蓋の隙間から蒸気もれ火傷を負った。圧力メーターが0になっていることを確認したが、手前のコックを開けていなかった。また蓋のロック6か所を対角線上に開けていくが、手前から順番に開けていた。	37	11	10104	50～ 99人
8	2018	5	20 ～ 21	店内で客席に料理を運ぼうとした際、厨房の入口付近に置いてあった炭酸のガスボンベを蹴ってしまい、倒れてきたガスボンベに足が当たり負傷した。	20	5	140201	10～ 29人
9	2018	6	15 ～ 16	作業台脇に設置してある清掃用エアークンのホース部分が破裂し、破裂音により耳鳴りが止まらなくなり、障害性難聴となった。	48	90	11305	300 ～ 499 人
10	2018	6	15 ～ 16	内視鏡製造工程で、最終梱包作業でほこり等を取り除くためエアークンを使用していた際、突然チューブが破裂し、衝撃で耳鳴りがした。	48	15	170101	100 ～ 299 人
11	2018	6	16 ～ 17	営業所敷地内で、前日から水が出なくなったため、建物横にある井戸水を汲み上げて溜めておくタンクを確認しに行ったところ、タンクが破裂し、近くにいた被災者が巻き込まれて死亡した。	64	15	80109	—
12	2018	7	16 ～ 17	工事片付け作業中、使用していたガスボンベ（10kg）をトラックの荷台に積み込み中に、手を滑らせてしまい、ガスボンベと荷台の内側側面部分の間に右手中指を挟み負傷した。	42	7	30106	1～9 人
13	2018	7	11 ～ 12	両手で梃子の要領で炭酸ガスの空ボンベを地面からトラック荷台に積み込み作業中、左手が滑った際にボンベの下に左手が入り、ボンベが落ちて左手示指と中指を負傷した。	51	4	40301	10～ 29人
14	2018	8	14 ～	飼料製造工場内で、機械清掃のためエアードスターガンを持ち、コンプレッサーのバルブを開いたとき、エアードスターガンからエアークンのカップラーが抜け外れ、カップラーが左目を直撃	43	6	11709	10～ 29人

			15	し、左眼球を負傷した。				
15	2018	8	14 ～ 15	ボンベ2本をボンベカーに乗せて移動中、近くに置いてあった窒素ボンベの台車にぶつかり、窒素ボンベを右手で押さえた際に、移動中のボンベカーを支えきれずに左膝の上に持ち手がのった。	60	5	11701	10～ 29人
16	2018	8	11 ～ 12	液体窒素容器交換作業中に、元バルブを完全に閉めていない状態でホースを外したために、液体窒素が漏れ、慌ててホースを接続しようとして、革手袋に液体窒素がかかり、両手凍傷となった。	46	11	40301	10～ 29人
17	2018	8	8 ～ 9	配管漏れ検査用ポンペを運ぶ途中に、あらかじめ立て掛けていた1本目のポンペに体が接触、そのポンペが倒れそうになり、とっさに出した左手が地面との間に挟まれ負傷した。	56	7	30302	10～ 29人
18	2018	8	1 ～ 2	トラックの荷台から、荷物をベルトコンベアへ流す作業中、ドライバーがブルーケースにポンペを立てて入れたため、ポンペが倒れて頭に直撃した。	53	5	50101	100 ～ 299 人
19	2018	10	4 ～ 5	工場で製造作業中、ドライバーの安全弁出口ピットで水漏れがあったため床を掃除していたところ、安全弁出口ピットからスチームドレンが噴き出し、背中に掛かり熱傷を負った。	41	11	10802	500 ～ 999 人
20	2018	11	14 ～ 15	事業所内の解体作業場で、小型酸素ボンベの解体中、ボンベに残っている酸素を抜かずにサンダーでボンベラベルを削っていた。その際に引火して爆発し、左手と腹部を負傷した。	38	15	11209	1～9 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。